

教育部

組織目標



教育部は、教育総務課（学校統合調整室）・学校教育課（教育センター）・学校給食課（学校給食センター）・社会教育課（公民館）・博物館・図書館で構成し、学校教育、社会教育に関する施策に取り組んでいます。

教育部の目標（令和7年度）	教育部長 浅見 泰志
【部の基本方向】 教育行政の基本理念である「豊かな人間性の育成」に向け、「学びと実践があふれるまち」をテーマに、学校教育と社会教育が連携・融合して各施策の展開を図ります。	
【部の重点方針】 1 子どもたちの夢の実現に向けた学校教育の充実に努めます。 2 学校と地域との連携・協働を推進し、子どもたちの生きる力の育成に努めます。 3 地域の課題を把握し、学びと実践による地域づくりに努めます。 4 学校教育と社会教育の連携、学校・行政・市民との協働に取り組み、学校と地域が互いに高めあえる環境を整備します。	
【課の目標（達成すべき目標）】 【教育総務課】   1 子どもたちが快適な学習環境で教育が受けられるよう、学校の再整備・再配置に向けた取組や学校施設等の計画的な整備及び改修を進めます。 ・西武中学校の建て替えに向け、新校舎建設工事の実施設計及び既存校舎の解体工事を行います。また、学校や関係部署等と連携し、子どもたちが安心して統合後の学校生活を送れるよう、通学路の安全対策などに引き続き取り組みます。 ・児童生徒の快適な生活空間の整備と避難所としての防災機能強化を目的に、小・中学校屋内運動場のエアコン整備を検討します。 ・校務支援システム及び教育ネットワーク更改業務に取り組みます。 【学校教育課】     2 「心理的安全性」を基盤とした学校教育を推	【目標の達成度合】

進し、学力の向上と定着を図るとともに、保幼小の滑らかな接続及び教育と福祉と保健の連携による「子ども未来室事業」を推進し、「豊かな人間性の育成」を目指します。

- ・子どもの発達段階に応じて、教師の指導中心の授業から子どもの学び中心の授業への転換を図り、児童生徒同士の聴き合う関係・考えを深め合う関係を高め、仲間の力を借りて自らの学びを深める「学び合い学習」を推進し、学力の向上と定着を図ります。
- ・GIGAスクール構想に基づき、タブレット端末等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を図り、児童生徒の学力向上に努め、埼玉県及び全国学力学習状況調査において全体の正答率の向上を目指します。
- ・「子ども未来室事業」として、切れ目のない・のりしろのある支援を目指します。幼稚園・保育所（園）・小・中学校への巡回支援、幼児通級指導教室（茶おちゃお）における指導及び特別支援学級・通級指導教室における教育活動の更なる充実を図ります。また、子どもたちへのよりよい支援に向けて、児童発達支援センターや福祉・保健分野の専門職との連携・協働を推進します。
- ・生徒指導・教育相談体制の整備、いじめ問題の対応や不登校の児童生徒に対する支援、適応指導教室のさらなる充実を図ります。
- ・地域とともにある学校づくりを目指し、全中学校区においてコミュニティ・スクールの充実を図ります。また、地域学校協働活動の活性化に向けて、地域学校協働活動推進員との連携を進めます。

【学校給食課】



3 安心・安全でおいしい学校給食を安定的に提供します。

- ・学校給食衛生管理基準に基づく給食調理を行い、安心・安全な給食を提供します。
- ・学校給食センターの施設更新に向けて、進行中の建設工事を遅滞なく進めます。また、既存施設の解体設計に着手します。
- ・学校給食費に関係する事項（トリガー条項、給食費改定等）について検討します。
- ・小学校の給食調理室へのエアコン整備方法に

ついて、教育総務課と連携し他市事例などを踏まえ検討します。

【社会教育課】



- 4 市民の多様な生涯学習活動をまちづくりに活かします。人権教育推進事業の充実を図り、市民の人権意識の向上を目指します。

公民館では地域の学習の場、交流の場、コミュニティの場を提供するとともに、地域づくりを支援します。

- ・大学等との連携により子ども大学さやま・いるま、子ども音楽大学いるまを実施します。学習成果を地域に活かすために、生涯学習フェスティバル、まちの先生講座を実施します。

(参加者数：3,000 人)

- ・人権問題講演会、人権啓発講座など、人権教育推進事業を実施します。

(参加者数：400 人)

- ・暮らしを豊かにし、地域を活性化する学びを提供します。

(主催・共催・後援事業数：300 事業)。

- ・地域学校協働活動を推進し、地域の活性化に資するため、地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員を委嘱し、活動を支援します。
- ・これからの社会教育及び生涯学習のあり方を示す計画の策定に向け、現状分析や審議会での意見聴取等を行い、素案を取りまとめます。

【博物館】



- 5 市民の「心のよりどころ」となる博物館の実現を図ります。

- ・指定管理者やレストラン、地域や地元企業等と連携し、「地域」と「お茶」をテーマにした様々な事業を実施することで、市民の学びの場の充実と、博物館の賑わいの創出につなげます。

(利用者数 80,000 人)

- ・旧石川組製糸西洋館では、一般公開や魅力的なイベントを市民と協働して実施するとともに、撮影等の貸出を行うことで、西洋館の

魅力の発信と維持運営に必要な財源の確保に努めます。また、将来的な保存活用策について、検討を行います。

(入館者数：4,000人)

- ・旧黒須銀行復元修理工事を計画的に進めます。また、竣工後の運営に向けて、近隣や地域と連携した活用策を検討していきます。

【図書館】



6 暮らしに役立ち学びを支える身近な図書館の実現を目指します。

- ・図書館資料の充実を図り、魅力ある図書館づくりを推進します。

(資料蔵書数：585,000点)

(年間貸出点数：700,000点)

- ・近隣市との図書館網の拡充を図ります。

(ダイア5市、青梅市相互利用者数：28,000人)